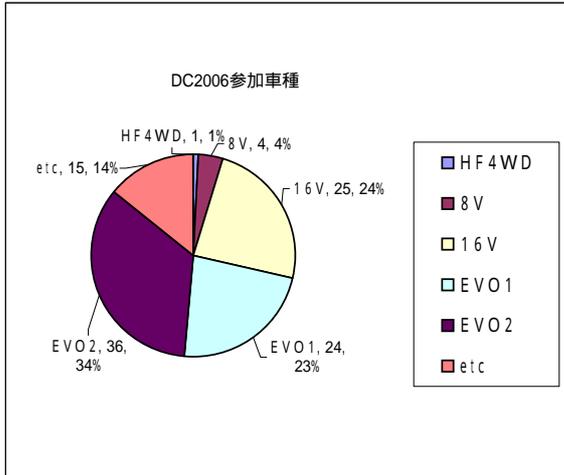
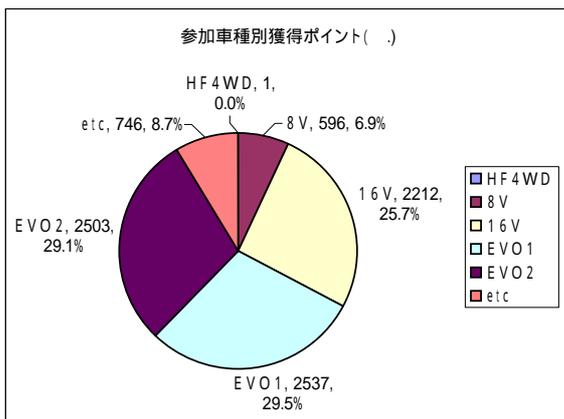


参加総台数		105 台		
		参加台数	獲得point	AvePoint
参加車種	HF4WD	1	1	1
	8V	4	596	149
	16V	25	2212	88
	EVO1	24	2537	106
	EVO2	36	2503	70
	etc	15	746	50



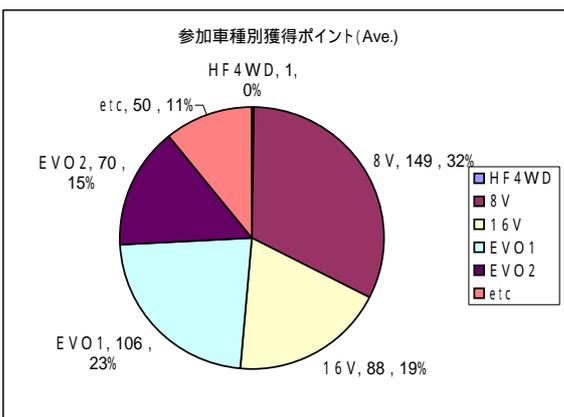
分析結果

参加台数が一番多いのが36台のEVO2。最終型であるEVO2で10年経つデルタだが、16VがEVO1と同等程度の参加台数を誇るところが素晴らしい。



分析結果

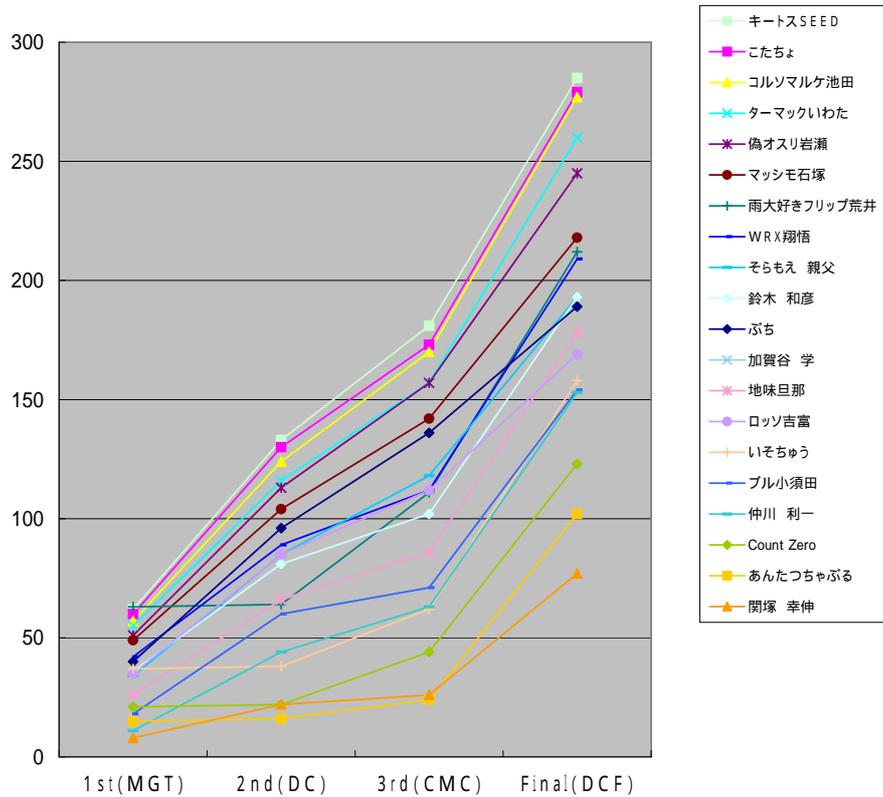
左の図が、車種別の獲得ポイント総計の構成比だ。参加台数が一番多いEVO2がEVO1に抜かれている。EVO2乗りはビギナーが多いことが判る。



分析結果

左の図が、車種別の獲得ポイントの一台当たりのポイント平均の構成比だ。
8Vの149Pは驚異的。少ないながら8V乗りはかなり武闘派が揃っているようだ。非力な8Vで、参加台数は他の車種の1/4程度なのに、8Vのドライバーの活躍が伺える。
次いで、EVO1乗り。平均的に速い人が乗っている車種の様だ。16Vは車種別の参加数はEVOより多いものの、総獲得ポイントで落ち込んでいる分、平均ポイントも減。16V乗りよ、がんばるのだ!

DCS2006 全戦出場選手のポイント状況



分析結果

上の図が、21名のDCS2006全戦参戦Drの獲得ポイント状況だ。

【Gr - S】

上位3名のポイントはかなり均衡しており、激戦状態だった。4位のターマックいわた選手はここ数年メキメキとポイントを上げ、遂にGr - Sの上位に食い込む活躍。雨大好きフリップ荒井選手は2戦のDCでのリタイヤが効いた。ここで、走りきってれば、かなりの上位に食い込んで来たハズ。ご存知、彼は長期休養中のリーダ寺沢選手の愛車、リーダ号で今年はスポット参戦。結果を出せなかったことで、オーナーからの百叩きの刑は免れないであろう。ぶち選手も3戦までは善戦するも、自らのイベントであるファイナルで沈む。やはり、自作自演は実力以上に厳しいものであることは経験上私も痛いほど味わっている。しかし、リタイヤは痛すぎる結果だった。ベストオブGr - SはGr - Bからのグラジュエイト組みである、そらもえ親父選手。彼は手堅い走りで行って全戦完走。強豪が集まるGr - Sの中に、Gr - BからSに昇格するも、チャレンジブルな走りは印象に残る。

【Gr - B】

全戦参加率が非常に少ないこのクラス。全戦参加ボーナスポイントでクラス優勝したのがいそちゅう選手。ただ、彼にとっても非常に厳しいシーズンだった。第二戦のDC富士では、神戸から自走で参戦。練習走行中にドラシャが折れリタイヤという不運にも見舞われたが、毎回クーベに"進化"という魂を入れ込み、1年間戦った結果がこの1位だったと思う。彼がクーベ乗りであることが残念だが、いつかは、また象使いにカンバックしてもらいたい選手の一人だ。ただ、彼がFFのクーベで象を食べることを一つのモチベーションとしているので、クーベでどこまでいけるかをがんばって実践して欲しい。彼にデルタに乗らせる決意を一刻でも早く持たせるためにも、Gr - Bの象使いはがんばって欲しいものだ。また、上記のグラフにはいないエントラントだが、ベストオブGr - Bとして上げたいのが、渡辺大輔選手。彼はGr - Aからのグラジュエイト組み。DCファイナルで見事Gr - Bの真中に上り詰め、2階級制覇。遂に栄光のGr - Sの称号を勝ち得た。以前はウノターポに乗っており、デルタに乗り換え象使いに宣戦布告。見事結果を残した選手である。今シーズン全戦参戦できなかったのが非常に残念だが、もし全戦参戦出来ていれば、個人的には新人賞を差し上げたかった一人である。

【Gr - A】

グラジュエイトは本人の意思によるものという、エントラント、及び関係者からの強い要望があり、年間同一クラスによる参戦を認めた。本来、ラジアル縛りのピギナークラスとしての位置付けであったが、ドンガラ車両でGr - AというWRX翔悟選手や、見た目ノーマルでもGr - B, Sを食ってしまうオクムラ選手のような達人が出たり、シブトイ走りで行って上位に絡む鈴木選手等、上位の熾烈な争いは見えても面白いものがあった。ラジアル縛りの何でもありクラスを作ることが一つの解かもしれない。来期は純粋たるピギナークラスを設け、一人でも表彰台の醍醐味を味わってもらいたいと思う。私のベストオブGr - Aは関塚選手。MGT等にも長年参加して頂いており、毎回北陸から参戦してがんばっている。ファイナルは車のトラブルか、途中で止まっていたが本人は伊那にいた。その心意気がうれしかった。来年またがんばって欲しい選手であり、こんなエントラントがDCSを支えていてくれるのだと思う。